

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

飯山市

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	森林づくり推進支援金（菜の花公園木製ベンチ製作委託）
事業費 946,000 円（うち支援金： 946,000 円）		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の価値について、当地域材の低価値による関心の低さから、森林の持つ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が忘れられ、森林の保全が放置されつつある。

(2) 本事業の目的

飯山市の大イベントのひとつ、菜の花まつり会場の菜の花公園に県産材を使用したベンチを導入することによって、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促す。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所：飯山市瑞穂地区 菜の花公園

(2) 対象者：市民、観光客

(3) 実施方法：県産材ベンチ及び解説看板の導入

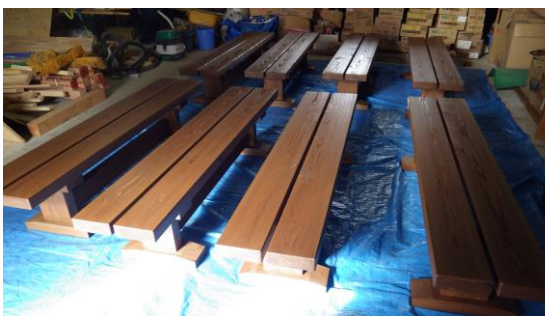
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画（令和元～令和 5 年度）

令和元～3 年度で菜の花公園全体に県産材ベンチ及び解説看板を導入する

②令和 3 年度実績

県産材ベンチ 8 基



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

県産材ベンチを観光地へ設置することにより、市民だけでなく観光客に対しても県産材の普及ができています。

(2) 継続性

菜の花公園では毎年、春の菜の花まつりだけでなく、夏はひまわり畑に姿を変え県内外から景観を楽しみに多くの方が訪れる。そのなかで県産材ベンチを設置し、長期間にわたり利用していただく中で、県産材の魅力を発信できている。

(3) 普及性

市の観光名所である菜の花公園に県産材ベンチを設置することで快適な公園利用を確保し、公園を訪れる大勢の方に県産材のPRができています。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

県産材ベンチは菜の花公園を訪れる多くの方に利用いただいております、県産材の良さを普及できている。また、ベンチと併せて事業PR看板を設置しており森林税の有効活用についてもPRができています。

(2) 課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前と比較し菜の花公園を訪れる人数は減少しています。より多くの方に県産材の普及啓発のために、コロナ禍でも誘客があり、菜の花公園との導線のある施設への県産材製品の導入を検討する必要があります。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

県産材製品の設置場所を菜の花公園から国道117号線沿いにある道の駅「花の駅 千曲川」に変更したい。上記道の駅は拡張工事を実施中で、更なる誘客を図っている。

その施設に県産材製品を導入することでより多くの方に県産材のPRを図りたい。

花の駅千曲川は菜の花公園から1km圏内に位置し、菜の花公園を訪れた観光客も多く利用の見込める施設となっており、これまで設置した県産材製品と併せ相乗的な普及啓発が見込める。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)